

第 2 7 5 回 役 員 会 議 事 録 (要 録)
 平成 2 9 . 1 2 . 5 (火) 1 5 : 2 3 ~ 1 6 : 2 3
 場 所 : 法 人 本 部 棟 5 F 2 会 議 室

出 席 者	越智, 宮谷, 相田, 山本, 高田, 平川, 片山 以上役員 7 名
欠 席 者	佐藤
オブザーバー	野上, 高橋, 古澤, 木原, 神谷, 寺本, 相原, 藤原, 竹内, 太呉, 佐々本

(前 回 議 事 録 (要 録) の 確 認)

(議 事)

1. 平成 2 9 年 度 及 び 平 成 3 0 年 度 教 員 人 事 (既 存 組 織 機 能 強 化 分) の 選 考 に つ い て — — 別 紙 1
 (学 長 提 案 ・ 藤 原 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明)

平成 2 9 年 度 及 び 平 成 3 0 年 度 教 員 人 事 (既 存 組 織 機 能 強 化 分) に 関 し て , 部 局 の 教 授 会 等 で の 議 を 経 て , 適 任 者 と し て 報 告 の あ っ た 候 補 者 1 6 名 に つ い て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 適 任 と 認 め る 旨 の 提 案 ・ 説 明 が あ り , 審 議 の 結 果 , 1 6 名 の 人 事 に つ い て 承 認 し た。

2. 平成 2 9 年 度 教 員 人 事 (国 立 大 学 改 革 強 化 推 進 補 助 金 (国 立 大 学 若 手 人 材 支 援 事 業)) の 選 考 に つ い て — — — — — 別 紙 2
 (学 長 提 案 ・ 藤 原 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明)

平成 2 9 年 度 教 員 人 事 (国 立 大 学 改 革 強 化 推 進 補 助 金 (国 立 大 学 若 手 人 材 支 援 事 業)) に 関 し て , 部 局 の 教 授 会 で の 議 を 経 て , 適 任 者 と し て 報 告 の あ っ た 候 補 者 3 名 に つ い て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 適 任 と 認 め る 旨 の 提 案 ・ 説 明 が あ り , 審 議 の 結 果 , 3 名 の 人 事 に つ い て 承 認 し た。

3. 平成 3 0 年 度 教 員 人 事 (特 別 事 情 分) に 関 す る 人 員 措 置 の 可 否 に つ い て — — — — — 別 紙 3
 (学 長 提 案 ・ 藤 原 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明)

平成 3 0 年 度 教 員 人 事 (特 別 事 情 分) に 関 し て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 緊 急 かつ 特 別 な 事 情 と 認 め ら れ る 2 件 の 人 員 措 置 に つ い て 提 案 ・ 説 明 が あ り , 審 議 の 結 果 , 原 案 の と お り 承 認 し た。

4. 任 期 を 定 め て 任 用 す る 教 員 の 再 任 審 査 に つ い て — — — — — 別 紙 4
 (学 長 提 案 ・ 藤 原 人 事 委 員 会 委 員 長 説 明)

任 期 を 定 め て 任 用 す る 教 員 の 再 任 審 査 に 関 し て , 部 局 の 教 授 会 で の 議 を 経 て 報 告 の あ っ た 候 補 者 8 名 に つ い て , 人 事 委 員 会 で の 審 議 結 果 を 踏 ま え て 検 討 し た 結 果 , 再 任 可 と 認 め る 旨 の 提 案 ・ 説 明 が あ り , 審 議 の 結 果 , 原 案 の と お り 8 名 の 人 事 に つ い て 承 認 し た。

5. 社会産学連携室に配属する准教授について ----- 別紙5
(学長提案・説明)

「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」事業の強化，充実を図るため，社会産学連携室に配属する准教授（1名）の選考について提案・説明があり，審議の結果，提案のあった候補者を准教授として選考し，発令手続を行うことを承認した。

6. 学術顧問の委嘱について ----- 別紙6
(学長提案・説明)

広島大学学術顧問規則に基づき，大滝 義博 氏を平成29年12月1日から平成31年11月30日まで学術顧問として委嘱することについて提案・説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。

(報告)

1. 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について ----- 資料1
(片山理事(財務・総務担当)報告)

国立大学法人評価委員会から通知があった平成28年度に係る業務の実績に関する評価の結果について，報告があった。

2. 先端物質科学研究科に配属する特任助教について ----- 資料2
(学長報告)

「健康長寿研究拠点」事業ならびに「細胞増殖分子機構解明研究」の強化，充実を図るため，平成30年4月1日付けで先端物質科学研究科に特任助教1名を配属することについて，報告があった。

本報告終了後，人件費ポイントの執行状況について説明があり，使用可能(見込)ポイントの確認を行った。併せて，若手教員，外国人教員及び女性教員の現状及び採用状況について，確認を行った。

以上(資料添付略)